

記念講演会

日 時 平成28年6月25日
16:00~

会 場 ホテル金水苑
入場無料

どなたでもおいで下さい。

同窓会総会のお知らせ

日 時 平成28年6月25日 15:00~
会 場 ホテル金水苑

※終了後懇親会があります。

事前に申し込みが必要です。

受付場所 鶴城高校同窓会事務局
五十川まで TEL 0972-22-3101

祝 野球殿堂入り



中山正竹氏 略歴

1947年生まれ。佐伯市出身。
1966年に佐伯鶴城高から法政大へ進学。
48勝の東京六大学リーグ最多勝記録を樹立（2位は江川卓氏の47勝）。
社会人野球の住友金属で活躍し引退後は監督としても都市対抗大会を制した。
88年ソウル五輪は日本代表コーチとして銀メダル獲得。
92年ハリゼロナ五輪では監督として銅メダルを獲得。
94年からは法政大の指揮を執りリーグ優勝7度と黄金時代を築いた。
2003年からプロ野球横浜（現DeNA）で専務などを務め、現在は全日本野球協会理事。

平成27年度卒業生

京大 2名 一橋 1名 お茶の水 1名
国公立 100名 合格

今年も頑張りました！

山中正竹氏



馬場の松

八年ぶりに鶴城に戻ってきた。少子化を目の当たりにした。空き教室の多さに驚く。生徒は落ち着いていてとても礼儀正しい。だが、自分が鶴城生だった頃と変わらないものがある。人懐っこい笑顔だ。クラス全員、男子も女子も号泣する姿に勤してきたが、ここ鶴城でも頑張ろうと素直に思えた。鶴城は私の原点だ。私は高校生活を謳歌した者はいないのでは?と思うくらいのびのび過ごした。たまたま背の高い女子で集まって校内を闊歩していたら、男子からアマゾネス軍団と呼ばれた。授業で教室に向かっていると、いろんなことが思い出される▼教師になれない教えるのではなく英語で考えさせてくれた。英語はあくまでも道具、英語を教えて母校で働いたのが16年前:英語授業は、鶴城の生徒と一緒に作り上げたものだ▼同窓会の有様も八年で一変した。百周年では寄付金を七千万円も集めていた。大企業の授業はない不景気の佐伯でどれほど大変だったか。本当に感謝している。おかげで生徒のためのいろんな企画が生まれ、昨年度、京都大学に二名、一大分県一だった鶴城ではない。時代ス規模の周辺進学校の中では目を見張る成績を収めている。県南の雄は橋大学に一名、国公立大学百名合格を果たした。今は高校入試の成績が大きく代わり、大分市の進学校が一人勝ちする現状にあって、六クラス規模の周辺進学校の中では目を見張る成績を収めている。県南の雄は今も健在なのだ。同窓会の方々には健児の行く手をこれからも見守り声援を送ってほしいと、心から願う。



リオデジャネイロ オリンピックへ

競泳

渡辺
一
平
さん
(63回生)



105周年、同窓会名簿が完成

7月末より発送予定です。

在庫が若干あります。

1冊 3,500円

申し込みは、同窓会事務局まで。

技を練り文を練る

佐伯鶴城同窓会

<http://kakujo.com/>

関東佐伯鶴城同窓会

<http://www.kanto-kakujo.net/index.html>

関西佐伯鶴城同窓会

<http://www.ac.auone-net.jp/~kakujo/>

おおいた佐伯鶴城同窓会

詳しくはホームページをご覧になって下さい。

いつでも受け付けています。

同窓会会費はこちらまで

1口 3,000円

ゆうちょ銀行 加入者名 佐伯鶴城同窓会
口座記号番号 01740-6-47995

住所 〒876-0848 佐伯市城下東町7-1

会費は母校のために使わせていただいております

- ★英検受験費用の補助
- ★大学訪問交通費支援
- ★部活動の補助
- ★「鶴城未来塾」(同窓生を講師にした講演会)の支援
- ★リーダー育成奨学金
- ★休日自主学習を指導する教職員に日当支援
- ★予備校活用援助(特別講師の招聘、教師の研修・生徒派遣) 等

同窓会のホームページが一新しました。
ぜひアクセスしてみて下さい。

新しいURL <http://kakujo.com/>

協賛社募集中



同窓会の役目は、現役の高校生の支援が最も大切な目的ですが、小生、一番感動したのは、吹奏楽部の皆さんのお演奏でした。我々の時代では、全く考えられないような個性を皆さんのが發揮していました。百十九人の同級生が参加して、昨年の正月に、高校卒業後50年の同窓会を行いました。次はいつ会うのか、既に話題になっています。

佐伯鶴城同窓会としても、中正竹さん、渡辺一平さん、山正竹さん、佐伯鶴城高とめたい話題が続いています。もっともっと佐伯鶴城高校の存在価値を高めていきたいものです。

松下

元(17回生)



昨年度より、17回生の代表として理事の活動をしていま

す。高校卒業以来、45年ぶりに佐伯に戻ってきました。佐

伯の変貌に、まだついていけていませんが、色々なことに挑戦して忙しい日々を送っています。

編集後記